



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長／井上 明彦 幹事／南 信行 クラブ会報委員長／関 幸博
 SAA／小池 裕孝 副 SAA／村田 秀雄

第1267回例会 2013年（平成25年）10月11日（金）ガバナー公式訪問

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
 ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

会長挨拶 井上明彦会長

「歓迎宮坂宥洪ガバナー公式訪問」

本日は宮坂宥洪ガバナーをお迎えしております。宮坂ガバナーの公式訪問をクラブ一同心より歓迎申し上げます。千木良ガバナー補佐には事前訪問に続きましての訪問、御礼申し上げます。本日の例会には宮坂ガバナーのご挨拶をいただきますがよろしくお願いいたします。

「ロータリーの職業宣言」について

宮坂ガバナーは今月の月信 GOVERNORs Monthly Letter に職業奉仕月間について寄稿されています。

ロータリーが唱える「職業奉仕」とは何か「職業と奉仕がイコール」である、同じである。「職業は奉仕の一つの機会であると考えること」この様に思い考える人がロータリアンであると要約しています。

さらには“ロータリーの職業奉仕”と“古来日本の商人道”との思想比較をされています。

江戸中期、京都の思想家で“石門心学の創始者石田梅岩”が唱えるところは「商道の原点」であり、近江商人の「三方よし」の思想と並んで「企業の社会的責任の原点」として注目されています。江戸時代から続く日本古来の「商人道・商人道徳」などはロータリーの「職業奉仕」の精神と同一のものである、などロータリーの奉仕哲学に関してお聞きできる良い機会かと思えます。会員一同、親しく拝聴いたします。

今日の例会も楽しくお付き合い下さい。

幹事報告 南 信行幹事

- ・山田友雄さんから米山奨学会とロータリー財団に寄付をいただき、感謝状がまいりました。欠席続きですが皆さんへよろしくとのことでした。
- ・次週18日は20日の地区大会へ振替えのため、ありません。25日も26日森例会へ振替えのためありませんのでご注意ください。また27日には秋の親睦ゴルフと松茸鍋懇親会、があります。20日(日)地区大会については、ホテル国際に7時半集合です。

会員紹介（再入会） 布施 ^{ケイスケ} 慶典さん

(株)エイエフシー 代表取締役 S19年 4月26日生
 会社：長野市アークス 9-14 職業分類：情報機器
 1997年 7月～2011年 6月 在籍

会長より：この度再入会していただき歓迎いたします！！後日ゆっくりとご挨拶いただきたく、またよろしくお願ひします。委員会の所属は会員家族委員会です。

予告 恒例の年末家族会は12月6日(金)開催です
 ご家族にもお知らせ下さり、予定にお入れ下さい。

11 / 1 本日のプログラム

会員卓話 竹村利之さん

シリーズ松代学④

「松代藩の武家屋敷・表門と土塀」

出席・ニコBOX報告 竹内喜宜例会運営委員

10/11 (会員56名) 出席36名前々回修正出席率91.48%

ゲスト 第2600地区宮坂宥洪ガバナー (岡谷 RC)
千木良賢作ガバナー補佐 (戸倉上山田 RC)

ビジター 矢島 實地区副幹事 (岡谷 RC)

☆出席者全員からガバナーを歓迎して1,000円ずつ☆

- ・青木茂人さん・福澤 寛さん・伊東義次さん
- ・金澤哲也さん・粕尾正康さん・小出昭雄さん
- ・小池裕孝さん・小山浩太郎さん・南 信行さん
- ・野村泰久さん・大橋東二郎さん・高井新太郎さん
- ・高井 亘さん・竹村利之さん・瀧澤 聡さん
- ・山口和彦さん・山本博昭さん

・綿貫隆夫さん☆ガバナー訪問を歓迎します。

ガバナー通信で素晴らしい哲学に触れることができ感謝しています。未来に向けてロータリーの舵取りに期待しています。

- ・高橋英司さん・若麻績信昭さん・竹内喜宜さん
- 飯田弘己さん☆ガバナー訪問歓迎申し上げます。
- ・矢島 實様☆本日お世話になります。

・合計 38,500円 ・累計 266,066円

宮坂宥洪ガバナー紹介 千木良賢作ガバナー補佐

宮坂ガバナーは1950年11月11日生まれで所属は岡谷 RC です。2600地区にはガバナー補佐が9名おりますが、その平均年齢より10歳ほど若いガバナーです。真言宗、照光寺の第29世住職で先代の宮坂宥勝様は、真言宗智山派管長を務められました。ガバナーは、高野山大学、名古屋大学博士課程、インドフーナ大学院を卒業され哲学博士の学位を取られ仏教学者としても活躍されています。

例会案内

11月8日 例会場：2階 弥生の間
ゲスト卓話 吉澤 正己さん
シリーズ松代学⑤
「長野県の文化財と松代藩」

11月17日 北信第1グループ IM
*15日(金)の例会はありません

ゲスト卓話 宮坂宥洪ガバナー



ロータリーの奉仕活動は5本柱です。クラブ奉仕と職業奉仕は対内的な奉仕活動で、過去にそんなに変わっていません。対外的な奉仕活動として社会奉仕と国際奉仕・青少年奉仕があり大きく変化して来ました。最初の50年はそんなに変わっていません。変わり始めたのは1962年インターアクトの設立、その後ローターアクトの設立、ライラの公式採用、74年には青少年交換プログラムの開始と変わりました。大きく変化したのは85年のポリオ・プラス・プログラムの開始からです。そして革命的な変化をもたらしたのは、2013年R財団「未来の夢計画」です。この計画の目的は「自分たちが拠出した寄付金を自分たちで考えた奉仕活動に使う」そして「プロジェクトの規模を拡大し、公共的イメージと認知度の向上に寄与する」ことです。RI 最優先の特別プログラム「ポリオ・プラス」は、なぜプラスか、それはポリオ（小児麻痺）の他に、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核という伝染病も加えたからです。ロータリー創立100周年の2005年までに根絶しようとしたのですが、残念ながらあと1%のところまで止まってしまいました。08年ロータリアンにも同額の寄付を条件に、ゲイツ財団から1億ドルの寄付をいただきました。さらに09年には同じ条件でゲイツ財団から2億5500万ドルの寄付をいただきました。その結果、今年のポリオの発症はパキスタンの2人だけと報告されています。あともう少しのところに来ています。

ところで奉仕は損でしょうか、得でしょうか。与えると減ったわけですから、一般的には損と考えられがちですが、タイの朝の托鉢の風景で判るように「人が評価されるのは、自分が何をどれだけ得たかではない。何をどれだけ世のため人のためどのように与えたかである」と云われています。そこで今年度の第2600地区の標語は「人は、得るものによって生計を立て、与えるものによって人生を築く」としました。

長野西 RC の益々のご活躍を祈念しております。

会報当番：飯田弘己